

シンボルプロジェクト

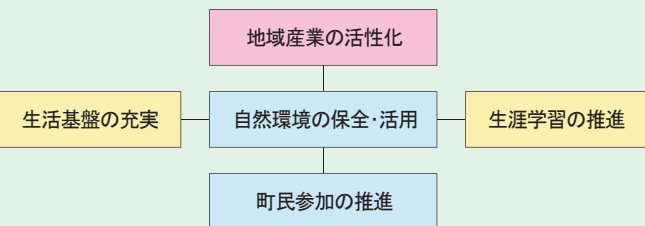
21世紀の多賀の将来像『山蒼く水清く心豊かな多賀のまち』を実現していくために、特に力を入れて進めるべき施策や事業を「シンボルプロジェクト」とします。

これらのプロジェクトは、いくつかの施策や事業が複合的に組み合わせられた施策群で、個々の施策や事業が相乗効果を発揮することをねらいます。

「50年先も安心して水が飲める」多賀づくり

母なる琵琶湖を守る水源地帯として、多賀の山や水を守り、資源循環型のライフスタイル、環境に調和する暮らしを实践します。

位置づけ



①環境意識の啓発・普及の推進

- 「総合学習」課程での環境学習・農林業体験等の取り組み
- 「多賀の自然と文化の館」を拠点とした、環境学習・情報提供システムの構築
- 多賀町環境基本計画・環境条例の制定
- ISO14001の認証取得

②環境保全対策の推進

- 山間部や河川へのゴミ等の不法投棄等を防ぐ、「環境監視員」制度
- 水洗化率100%を目標に、全世帯の下水道等の接続への支援

③自然との共生

- 多賀町エコ・ミュージアム構想の具体化

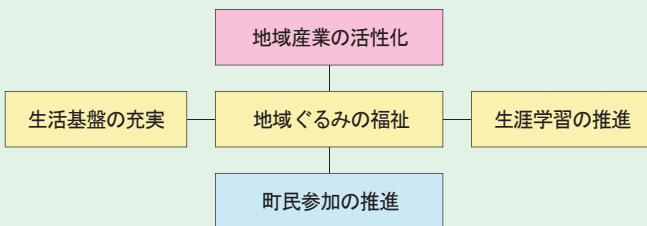
④省資源・資源循環型の暮らしへの転換

- 広報等を通じた4R運動の啓発・PR事業
- 木材等を活用した、観光案内板や標識等のサインの設置、公共施設等の整備

「安心して子どもを育て歳をとれる」多賀づくり

少子・高齢化の先進モデルとして、介護サービス、健康づくり、地域ケア体制、社会参加、子育て支援の各事業を重点的に進めます。

位置づけ



①介護サービス等の推進

- 「総合福祉保健センター」の機能充実
- 在宅介護支援センター等の設置

②健康づくりの推進

- スポーツによる健康づくりの啓発、学習

③高齢者等の社会参加・生きがいづくり

- 地域社会における主体的な活動の担い手としてボランティア活動への参加支援
- シルバー人材センター等を通じて臨時的・定期的な就業機会の確保・開拓

④子育て環境の充実

- 多賀学区の幼稚園整備
- 早朝・延長保育の時間延長、一時保育、0歳児保育の実施
- 総合福祉保健センターに子育て支援センターを設置

⑤地域ケアの推進

- 保健・医療・福祉が一体となった連絡支援体制の強化
- 各字に設置された「福祉会」の活動の支援、ボランティアの育成

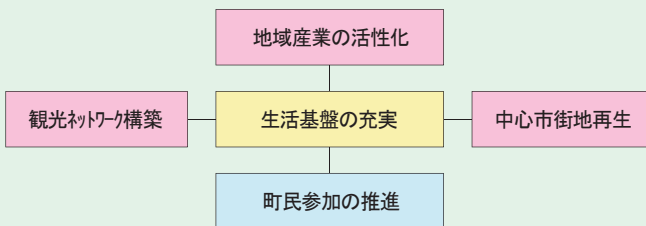
⑥安全で快適な生活基盤の整備

- 高齢者等バリアフリー型住宅の増改築への助成、日常生活用具や介護機器の貸出

「住んでみたい、行ってみたい」多賀づくり

目標人口1万人に対応した生活環境整備や職場の確保など、人口の定住化と交流の拡大を図る、多賀らしい魅力的なまちづくりをすすめます。

位置づけ



①新規住宅団地等の整備

- 柏葉団地2期、若宮地区の住宅団地の整備

②地域産業の活性化

- 水や木を活用した特産品の開発
- TMO計画にもとづく中小小売商業高度化事業

③中心市街地の活性化

- 近江鉄道多賀大社前駅改築及び周辺整備、公共交通利用促進運動の実施
- 県道多賀高宮線の参道にふさわしい景観整備

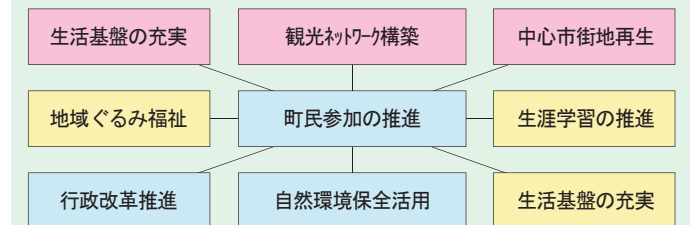
④安全で快適な生活基盤の整備

- 国道306号新鞍掛トンネル、国道307号多賀赤坂付近の切り下げ、国道8号バイパスの早期着工の要望
- 都市計画道路等町道の整備、山間部の環状道路網の検討
- 治山治水等防災まちづくり、自主防災・防犯体制の確立、防災施設等の整備

「自らの創意と工夫で個性ある」多賀づくり

行政の取り組みだけでなく、多賀らしい独自のまちづくりのため、町民の参加と理解が必要不可欠です。「自らの創意と工夫で個性ある」多賀をめざします。

位置づけ



①人権を軸にしたまちづくり

- 家庭、地域、学校、企業、行政等における人権教育・啓発事業

②男女がいきいきと活躍できるまちづくり

- 男女共同参画の実現
- 社会参画と家庭生活の両立支援

③個性ある人づくり

- 地域の子ども達や親子が積極的に、企画立案やフィールド調査、イベント等に参加・体験できるような地域参加型博物館の実現

④町民参加支援システム

- 町民参加支援制度の創設